

とある曇りの午後 のウォーキング

部屋の中でじっとしていても案外暇である。
ちょっとしんどい。

だけど仕事をちょっとしたチャンスがあって休ませ
てもらったということは、

その暇を自分で好んで作ったということだ。

ハッピーなのだ。楽をしているのだ。

午前、駅前まで行ったいつもの決め事のウォーキングは3時間前に終わった。

スマホのエンターテインメントはとても濃い。

テレビ時代とは水準が変わっている。

濃くなりすぎているような時代ではあると思う。

・・・・・・・・なんでもかんでも簡単に見れるので。

YouTube をぼーっとならしていてもいいのだけど

足元が少し疼く。

歩くのが染みついている。

運動が好きなのである。自然にというか……………。

駅とは逆側の

川の方まで行った。

どうだろう、5キロくらい。1時間弱。

河川敷のよくあるひし形の模様が並んだコンクリー

ト壁の小さな段が、

飛び越えるには少しだけ高く、

そのまま俺はまっすぐ山の方へ向かった。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。